

# 衆議院環太平洋パートナーシップ協定等に関する特別委員会ニュース

平成 28. 10. 14 第 192 回国会第 2 号

10 月 14 日（金）、第 2 回の委員会が開かれました。

## 1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。  
理事 江 藤 拓君（自民）（理事福井照君去る 9 月 30 日委員辞任につきその補欠）

## 2 環太平洋パートナーシップ協定の締結について承認を求めるの件（第 190 回国会条約第 8 号）

### 環太平洋パートナーシップ協定の締結に伴う関係法律の整備に関する法律案（内閣提出、第 190 回国会閣法第 47 号）

- ・両案件について、提案理由の説明を省略することに協議決定しました。
- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。
- ・岸田外務大臣、塩崎厚生労働大臣、山本農林水産大臣、世耕経済産業大臣、石原国務大臣、松本内閣府副大臣、大塚財務副大臣、齋藤農林水産副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 武 部 新君（自民）

- ・米国の大統領候補が環太平洋パートナーシップ（TPP）協定の再交渉に言及するなど交渉のやり直しが懸念される中、他国から再交渉を求められた場合にはどのように対応するのか、政府の方針を伺いたい。
- ・TPP 協定の交渉に限らず、一般的に外交交渉の過程は開示されないと理解しているが、外交交渉に関する情報開示の在り方についての政府の見解及び情報開示へ向けたこれまでの政府の取組について伺いたい。
- ・生産者の不安を払拭するためにも、TPP 関連対策を着実に実施していくことが重要だと考えるが、対策の実施に関する政府の考えを伺いたい。

### 大 西 宏 幸君（自民）

- ・TPP 協定には、統一された原産地規則等、ルール分野でもメリットがあるが、政府は他にどのようなルール分野におけるメリットがあると考えているのか。
- ・TPP 協定による中小企業にとっての具体的なメリットは何か。
- ・加工食品の輸入の増加が予測されるが、食品表示に係る政府の取組はどのようなものか。

### 福 山 守君（自民）

- ・TPP 協定の早期発効に向けた機運を高めることについて、石原国務大臣の決意を伺いたい。
- ・動植物検疫及び食品検疫に係る協議は長期間を要するが、

農林水産物の輸出拡大に向けて検疫協議にどのように取り組むのか。

- ・チェックオフ制度法制化については、課題があるものの、制度導入に前向きな業界団体もあり、加入率等の具体的な数値を示して業界団体の取組を後押しするべきではないか。

### 黄川田 仁 志君（自民）

- ・TPP 協定に参加することで日本経済にどれだけの効果が生じるのか。
- ・韓国政府が TPP 協定参加を近く正式決定するという報道について、岸田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・TPP 協定の規定により将来的に制度の見直しが行われた場合でも国民皆保険制度は守られるのか。

### 中 川 康 洋君（公明）

- ・日本が TPP 協定をてこに FTAAP（アジア太平洋自由貿易圏）等の交渉を牽引することは、東アジアにレベルの高い自由経済圏を形成するとともに、中国を含むアジア太平洋地域の平和と安定に日本が重要な役割を果たすという考えに対して、岸田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・水産物の輸出拡大に向けて、対 EU・HACCP 認定施設の増設や、輸出に係る各種手続の迅速化・簡素化を進めるべきではないか。
- ・加工食品の原料原産地表示の対象を拡大する場合には、事業者の負担軽減を考慮した制度を構築する必要があるのではないか。